

夢への飛躍

金沢桜丘高校いしかわニュースーパーハイスクールだより

令和3年度 第6号
編集：NSH推進課
発行責任者：正村泉一

東京証券取引所出前講座

今回は、11月2日（火）6～7限に人文科学コースの生徒を対象に行われた、(株)東京証券取引所金融リテラシーサポート部による「東京証券取引所リモート出前講座」についてお知らせします。

Part1 株式会社のしくみと株式市場

社会や経済の動きと株価について、また株式会社のしくみ及び機能について学びました。

Part2 株取引体験

具体的なニュースを聞いて、株の売買をする『ブルサ』というボードゲームを使用し、社会・経済の動きと企業業績・株価変動の関係について学びました。



リモートで講義を受けました



「ブルサ」体験中



「外国人観光客が増えた」どの株を買えばいいの!?

●感想●

- ・ 株価の上昇などのニュースをみてもあまり理解できなかったが、今日のゲームを通して円高円安、金利の上下などたくさんの方が影響することを知り、面白かったし興味をもった。
- ・ 国際的な変動や情勢が身近な生活にも関わっているとわかり、もっと深く知りたいと思った。
- ・ 株の売買のタイミングを見極めるのがとても難しかったけど面白かった。
- ・ 国内、国外の経済状況がとても株価に関係していくので日ごろのニュースを見る必要があると思った。

●講座後寄せられた質問とその回答（株東京証券取引所金融リテラシーサポート部町田貴子様より）●

Q「株の売買はどのタイミングで判断するのですか。」

A：基本は、安い時に株式を買い、高い時に売る。そうすれば利益を得ることができます。

株式は、未来を予想し、売買をするので、買う場合は、これから株価が上がりそうだと判断をした時、売る場合は、これから下がりそうだと思えば値段が下がる前に売ると考えた時。再度値段が上がると思えば、持っていればいいわけです。株の売買のタイミングは、未来を予想し、自分で判断をしなければなりません。

Q「日々どのくらいのお金がやり取りされているのですか。」

A：東京証券取引所では、一日約2兆円の株式の取引が行われています。

Q「株価は1日にどのくらい変動するのですか。」

A：あまりにも株価が一日で動くとみんなが安心して売買できません。

過度な値動きを抑制する観点から、東証は、一定の値段の幅に制限する制度を導入しており、1日で動く値段の幅が決まっています。例えば、1株1000円以上1500円未満の株式は、上下300円です。（裏へ👉）

Q「本当なら株式が変動してからでないとも株を売買できないのでは。」

A：ブルサは学習教材ですので、ニュースを聞いてから売買する方式となっています。皆さんにゆっくり考えてもらい、ニュースや世の中の動きが株価に影響を与えることを知ってもらうことを目的としました。実際は、機関投資家（株式の売買をするプロ）は、たくさんの情報を自分から取りに行き、今後を予想して株式を売買します。

私たち個人は、いち早く情報を得た機関投資家の行動の後、ニュースと株価の変動を知り、売買することとなると思われます。しかし、自分の中でいい商品だと分かっている、その後世の中で爆発的に売れ、会社の業績が上がり、株価が上がるということが多々あります。

ある機関投資家の方のお話しですが、「家庭で『息子が【駿足】という靴が欲しいが、無くてやっと探して買った』という会話があり、その靴は、上場会社のアキレスという会社が出しているものだったが、その会話をスルーしてしまって、その後アキレスの株価がすごく上がり、失敗したと思いました。」と話していました。駿足の販売開始の頃の話ですが、このように株価の変動前から株価の予想をし売買をすることは可能です。ですから、社会の動き、世の中の動きに興味を持ってもらいたいと思っています。株価は、先行きを示すバロメーター。株価を武器に先を読む力をつけてもらいたいと思っています。